

京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2019-26
研究課題名	糖尿病診療における体組成分析の有用性
研究責任者	【所属】糖尿病内分泌内科 【氏名】貴志 明生
研究主催機関	【主催機関】 【代表者】
研究期間	【開始】2019年 9月 3日 【終了】2019年 11月 30日
研究の背景・目的・意義・方法など	糖尿病診療において、インスリン抵抗性とインスリン分泌能を評価することは重要です。一般にBMIが高値の場合、インスリン抵抗性を呈していることが多いとされています。しかしBMIが高値でなくとも、体組成分析を施行すると体脂肪量が多い方が存在し、そのような方はBMI値ではインスリン抵抗性を推測できません。つまり、体脂肪分析が重要となる可能性があります。 本研究において、糖尿病診療における体組成分析の有用性を解析します。
対象者	2018年4月1日～2019年11月30日の期間で、当院で体組成分析を施行した糖尿病の方
試料・情報等の利用目的、利用方法	体脂肪量とBMI、インスリン分泌能などに相関がないかを、後ろ向きに解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は日常診療による観察項目のみ用います。
備考	

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、京都岡本記念病院 糖尿病内分泌内科 貴志 明生 までお問い合わせ下さい。

TEL 0774-48-5500